松田　信之

日時　２０２３年１１月８日（水）２０時～２１時３０分
テーマ：「科学」、「科学的」、あるいは「科学リテラシー」に関係すること。

フォン・ノイマンの哲学 人間のフリをした悪魔　　高橋昌一郎2021

ジョン・フォン・ノイマン（1903年 - 1957年）の業績（ChatGPTより）

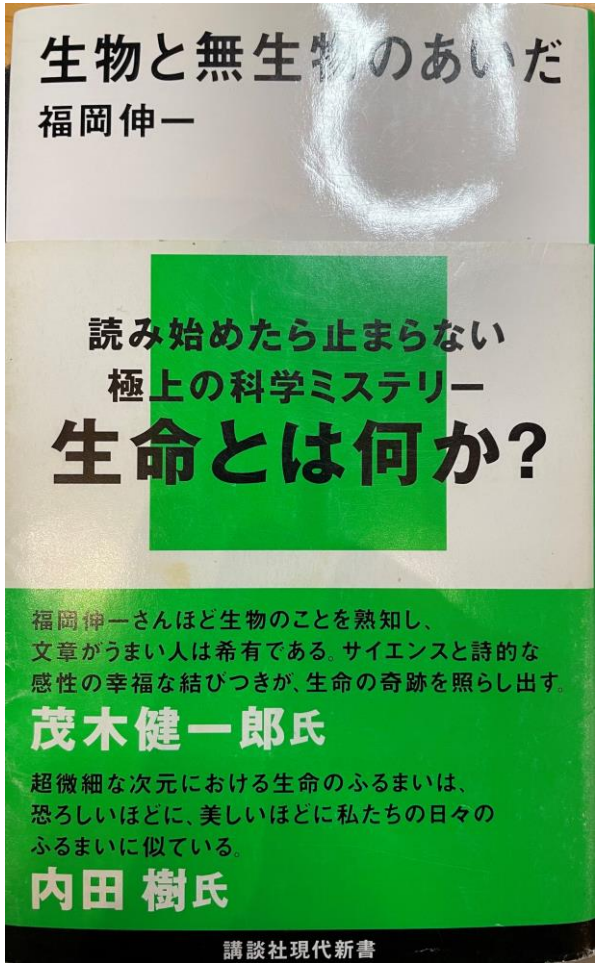
1．コンピューターサイエンスとアーキテクチャ:フォン・ノイマン・アーキテクチャ
2．ゲーム理論:
3．量子力学:フォン・ノイマンの定式化
4．セル・オートマトン:複雑な系の挙動をモデル化するための基礎
5．爆発力学と流体力学:核兵器の設計
6．オペレーションズ・リサーチ:数学的手法の開発
7．数学的基礎付けと数理論理学:集合論の公理化

ノイマンは、表面的には柔和で人当たりのよい天才科学者でありながら、思想の根底にあるのは、科学で可能なことは徹底的に突き詰めるべきだという「科学優先主義」、目的のためならどんな非人道的兵器でも許されるという「非人道主義」、そして、この世界には普遍的な責任や道徳など存在しないという一種の「虚無主義」である。（amazon書籍紹介より）

第９回おんらいん読書会

松田　信之

生物と無生物のあいだ　福岡伸一　2007



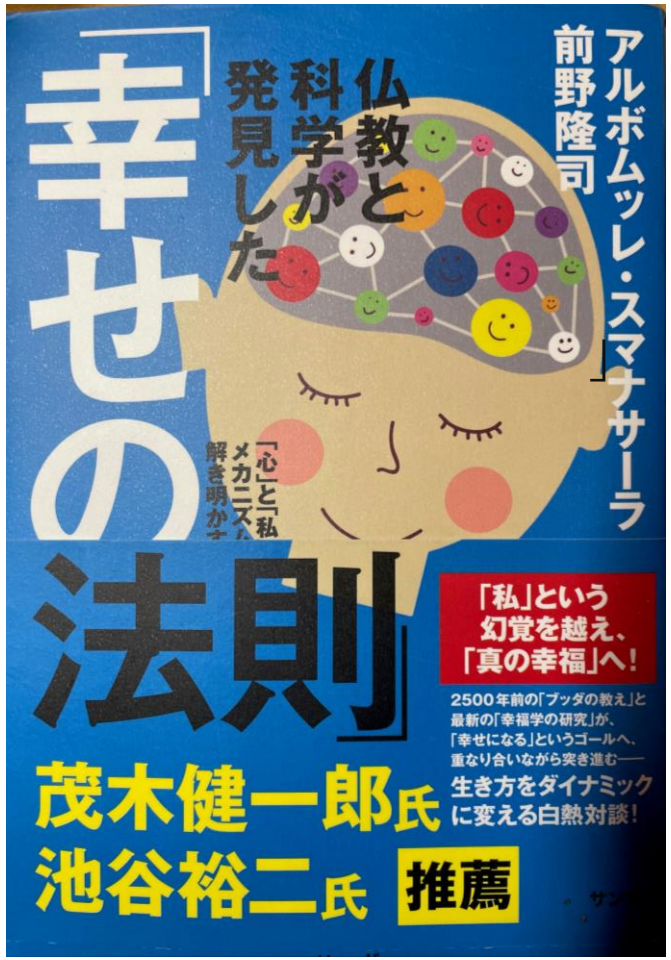
・本当に文章がうまく、引き入れられる（作家でも食っていけるのでは！）。
・紹介される不遇なエピソードが推理小説を読むようにどんどん引き込まれ、その過程で分子生物学の理論が自然に入ってくる。
・生命とは、「動的平衡」である
　1. 常に流れの中にあり、循環する
　2. 分解（破壊）してから合成（創造）する
　3.流れの中で同じ状態であるためには相補性が重要
・2007年発刊だが、コロナ禍を経た今、mRNAの話はピンとくる。

第９回おんらいん読書会

松田　信之

仏教と科学が発見した「幸せの法則

アルボムッレ・スマナサーラ，前野隆司　2017



・アルボムッレ・スマナサーラ　テーラワーダ仏教（上座仏教）長老
1980年に来日。ＮＨＫ Ｅテレ「こころの時代」などに出演。著書多数

・前野隆　慶應義塾大学SDM研究科教授・ウェルビーイングリサーチセンター長
キヤノンにてロボットを研究　大学にて笑い→幸せの研究へ
『幸せのメカニズム―実践・幸福学入門』（講談社現代新書）、『幸せな職場の経営学』（小学館）、『ウェルビーイング』（前野マドカ氏との共著・日経文庫）など書著多数

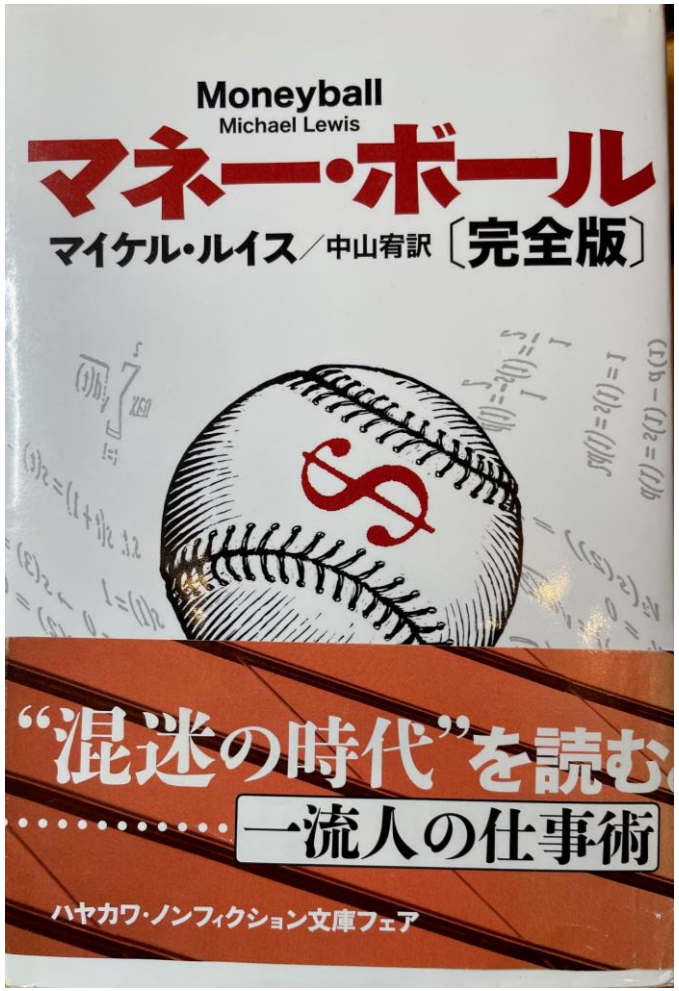
・幸せの４つの因子
自己実現と成長（やってみよう因子）
つながりと感謝（ありがとう因子）
前向きと楽観（何とかなる因子）
独立と自分らしさ（ありのままに因子）

唯一マーカしてあったところ→

人生に起こるすべての不幸な出来事は自分自身を成長させるための宿題にすぎないと思う人は楽観主義・悲観主義という極端から抜けます。その人は人生が良い方向に流れると楽しみ、悪いことが起きたら「挑戦すべき宿題が現れた」と楽しくなる（アルボムッレ・スマナサーラ）。

第９回おんらいん読書会

松田　信之



マネーボール　マイケル・ルイス　2013

1990年代末、オークランド・アスレチックスは資金不足から戦力が低下し、成績も沈滞していた。新任ゼネラルマネジャーのビリー・ビーンは、かつて将来を嘱望されながら夢破れてグラウンドを去った元選手。彼は統計データを用いた野球界の常識を覆す手法で球団改革を実行。チームを強豪へと変えていく――
（amazon書籍紹介）

・発表は2003年イチローがメジャーリーグ入りして3年目、野茂がMLB100勝達成
・セイバーメトリックス
・打率や打点ではなく、出塁率の最大化
・データサイエンスの先駆け